

Christian Breaker

【6】「異言」を Break する： テサロニケ 5:23(2007.06.24分)

「シャロン」です。梅雨も本番、不快指数も高いですよ。

我が家でも、8歳になる長女みーさんのご機嫌が悪い悪い…。昨日も、宿題をはじめるや否や「あ～、いらいらしてきた。おかあさん、どうしたらいいの～(;_;)。」と泣きか…。こちらも、夕食の用意、明日は下の娘の弁当がいる、早起させねば…。風呂に入れて、早く寝かせねば…。何ぞ考えているところに、「めそめそ」とみーさんの泣き(; ¥;)、「いらいら」しながら、「気合だ！！泣き止むと決めたら、泣き止める！」とアニマル浜口も真っ青な激を飛ばすが、「それでも悲しい気持ちはなくならない～」とみーさん。たしかに(-_-);、そんなんで泣き止めたら苦労せんよな…。でも、宿題もせず、横で、ピーピー泣き続ける娘…。「誰か助けて～」とよく思います。そういう時に限って、下の娘きーちゃんが、「お姉ちゃん、何で泣いてるの？早く泣き止まないと。」と追い討ちをかけるみーさん、劇泣き！「勘弁してくれ～(;0;)」。

今週のメッセージテーマは「異言」についてでした。実はこの「異言」、私にとっては馴染みの薄いものです。はじめは、アメリカのグレースブレザレン(結構ストイック)の宣教師さんによって救われ、続いてはバプテスト、そのあとにここペンテコステにやってきました。祈禱会でイザヤ先生が「 * # 千…」と祈り出したかと思うと、うしろからも「 ¥…」となんやら不思議な声…。だいぶ慣れましたが(^_^);、自分が「異言」で祈れるほどではありません。そんな私にも、便利な言葉がありました。「主よ！」という言葉と「ハレルヤ！」という言葉です。これは初心者にも使えます。よく祈るときにつかっています。しか～し、今週のメッセージを聞いて、新たなつかい方を発見しました。ちょっと、ベタなつかい方で、申し訳ないのですが…。

先ほどご紹介したように、私は2人の子育ての真っ最中、それに加えて、大学院の勉強、よく人から「いつ勉強しているの？」と聞かれます。基本的には昼間と、あとは、子供が寝たあと、必然的に万年睡眠不足の状態に陥っています(-_-);。特に夜は「いかに早く寝かせるか！」が勝負なのですが、これまた戦争。「みーさん、宿題なさい！明日の用意は終わったの？」「きーちゃん、保育園の洗濯物は洗濯籠にね！」といってる端から、2人で「キャー」とか言いながら、遊びだす。仕方なく、自分で後片付けをして、夕食の用意をして、「ご飯よ！」と食べさせる。またこれが食べない。みーさんはだいぶ母の顔色を読めるようになって来ましたが、きーちゃんは全く「読まない！」。ときどき、「読めない」のではなく、「読まない」のかも…と無償に腹の立つことがあります。一口食べては「スプーンとってこよ」といっては立ち上がり、どこかにいってしまう…。「ごちそうさまか？」と聞くと、「まだ食べる！」と舞い戻っては、また一口…。30分たっても、食べ終わらないにもしばしば…。「もう食べてもらわんでもいいよ(母激怒)。こんな感じで『つぶやき』のやめられない私なのでした。

よく育児書などを見ると怒る前にすこし『クールダウン』をしてから、子供に接しなさい、などを書いてある。しかし、これが難しい…。特に口の立つ私は、矢継ぎ早に『つぶやき』が出てくる。「どーしたら、クールダウンできるんだ？？誰か教えて！」と私にとっての課題でした。ふと先日、メッセージを聞いたあと、怒る前に『主よ、主よ、主よ…』と祈ってみた。これがなんと、よく効く。切り替えのできなかった私が、「ふっと」冷静になれる。「使える！！」そう思いました。

その夜、また事件が…。きーちゃんが泣きながら「お姉ちゃんがたたいた～」と。みーさんは、「きーちゃんが、いらいらすることいってから叩いた」と。う～ん…。そのあと、みーさんにたとえ話をした。「みーさん、いらいらは、『病気』みたいなものや。一人いらいらしたら、伝染して、みんなもいらいらする。でも『病気』やから、『薬』を飲んだら治るんや。でもな、その『薬』は、一人一人違うねん。みーさんの『薬』が何か、お母さんにはわかれへん。自分で探さなあかんあ。」と。しばらくして、みーさんが、「うちには2つあるで！好きな本(漫画本)を読むこと、おいしいお菓子を食ふことや！」と。そういえば、夕方の泣き(前述)が入ったときは、泣きながらポテトチップスを「うえ～ん、バリバリ！、うえ～ん、バリバリ！」と、食べてたな。わが子ながら、たぐましい…。

皆さんも、自分の『特効薬』に『異言』を使ってみませんか？別な『効用』があれば、ぜひお教えあれ！！